

周南市水道事業の財政状況

2022年度(令和4年度)



目次

1. 水道事業会計の決算状況	-----	1
2. 経営指標	-----	3
3. 水道事業債の残高状況	-----	5
4. 一般会計繰入金の状況	-----	5
5. 繰出基準について	-----	6

周南市上下水道局 財政課

令和4年度 水道事業の財政状況

1 水道事業会計の決算状況

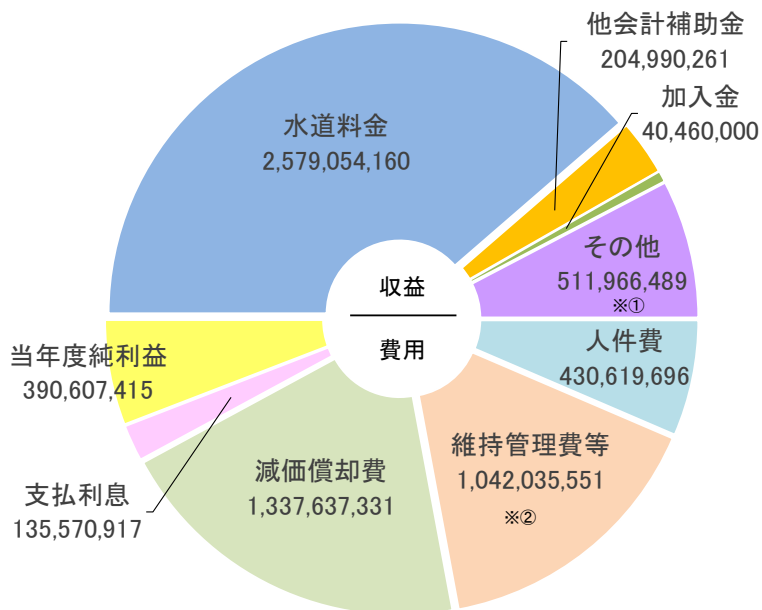
収益的収支については、収入の総額が33億3千6百万円、支出の総額が29億4千6百万円で、当年度純利益が3億9千1百万円となりました。

資本的収支については、収入の総額が8億6千6百万円、支出の総額が22億6千4百万円で、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は13億9千9百万円となり、その不足額は、過年度損益勘定留保資金等で補っています。

《収益的収支》 事業の経営活動に要するもの

(単位:円 税抜)

科目	令和4年度
水道事業収益	3,336,470,910
水道料金	2,579,054,160
他会計補助金	204,990,261
加入金	40,460,000
雑収益	17,206,117
その他	494,760,372
水道事業費用	2,945,863,495
人件費	430,619,696
動力費	147,711,680
修繕費・材料費	52,670,900
薬品費	27,654,210
支払利息	135,570,917
減価償却費	1,337,637,331
受水費	55,446,967
その他	758,551,794
当年度純利益	390,607,415



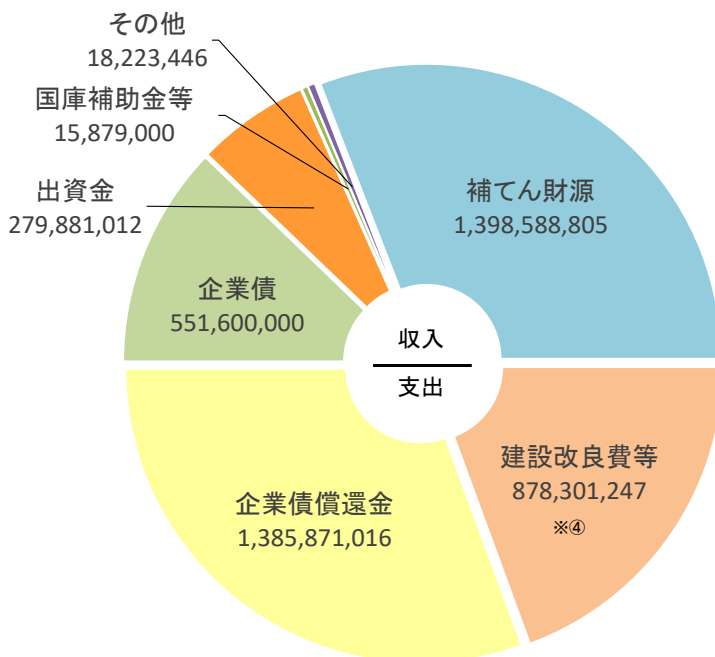
※① その他…雑収益、その他収益

※② 維持管理費等…動力費、修繕費・材料費、薬品費、受水費、その他費用

《資本的収支》 施設の整備に要するもの

(単位:円 税込)

科目	令和4年度
水道事業資本的収入	865,583,458
企業債	551,600,000
出資金	279,881,012
国庫補助金等	15,879,000
負担金	11,395,899
その他	6,827,547
損益勘定留保資金等補てん財源 ※③	1,398,588,805
水道事業資本的支出	2,264,172,263
浄水設備改良費	358,759,591
送配水設備改良費	460,308,003
営業設備	4,616,572
企業債償還金	1,385,871,016
その他	54,617,081



※③ 資本的収入が資本的支出に不足する額を補てんするもの。

※④ 建設改良費等…浄水設備改良費、送配水設備改良費、営業設備、その他支出

＜損益計算書＞（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

（単位：円）

1. 営業収益				5. 特別利益			
(1) 給水収益	2,579,054,160			(1) その他特別利益	318,958	318,958	
(2) 受託工事収益	455,355						
(3) その他営業収益	108,497,073	2,688,006,588		6. 特別損失			
2. 営業費用				(1) 災害による損失	1,239,854		
(1) 原水及び浄水費	768,899,995			(2) 過年度損益修正損	1,403,895		
(2) 配水及び給水費	178,998,792			(3) その他特別損失	739,150	3,382,899	△ 3,063,941
(3) 受託工事費	455,355						
(4) 業務費	199,017,047						
(5) 総係費	221,079,213						
(6) 減価償却費	1,337,637,331						
(7) 資産減耗費	30,509,403	2,736,597,136					
営業損失		48,590,548		当年度純利益		390,607,415	
3. 営業外収益				前年度繰越利益剰余金		436,626,154	
(1) 受取利息及び配当金	1,162,395			その他未処分利益剰余金変動額		477,490,157	
(2) 他会計補助金	204,990,261			当年度未処分利益剰余金		<u>1,304,723,726</u>	
(3) 長期前受金戻入	299,073,309						
(4) 加入金	40,460,000						
(5) 飲料水供給施設収益	29,293,168						
(6) 協議会収益	55,960,114						
(7) 雑収益	17,206,117	648,145,364					
4. 営業外費用							
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	135,570,917						
(2) 飲料水供給施設費用	18,261,886						
(3) 協議会費用	51,696,365						
(4) 雑支出	354,292	205,883,460	442,261,904				
経常利益		393,671,356					

＜貸借対照表＞（令和5年3月31日現在）

（単位：円）

科目		決算額	科目		決算額
資産		33,810,615,953	負債		17,501,132,992
固定資産		29,802,368,391	固定負債		10,572,187,119
有形固定資産		28,496,738,254	企業債		9,924,686,319
土地		1,496,263,433	退職給付引当金		433,528,998
立木		51,600	修繕引当金		213,971,802
建物		967,700,683	流動負債		1,724,248,008
構築物		23,418,696,143	企業債(1年以内に償還予定)		1,393,235,636
機械及び装置		2,377,370,858	未払金		292,793,178
量水器		99,627,146	賞与引当金		36,252,374
車両運搬具		878,609	その他流動負債		1,966,820
工具器具及び備品		20,446,215	繰延収益		5,204,697,865
その他有形固定資産		486,500	長期前受金		12,419,259,730
建設仮勘定		115,217,067	収益化累計額		△ 7,214,561,865
無形固定資産		1,305,630,137	資本		16,309,482,961
施設利用権		430,692,491	資本金		13,934,322,724
ダム使用権		874,937,646	固有資本金		665,599,152
流動資産		4,008,247,562	出資金		5,240,335,000
現金預金		3,335,657,626	組入資本金		8,028,388,572
未収金		486,021,887	剰余金		2,375,160,237
貸倒引当金		△ 6,687,457	資本剰余金		213,308,188
貯蔵品		21,955,506	受贈財産評価額		188,506,065
有価証券		100,000,000	その他資本剰余金		24,802,123
前払金		71,300,000	利益剰余金		2,161,852,049
			減債積立金		442,671,870
			利益積立金		17,760,334
			建設改良積立金		396,696,119
			当年度未処分利益剰余金		1,304,723,726
資産合計		33,810,615,953	負債・資本合計		33,810,615,953

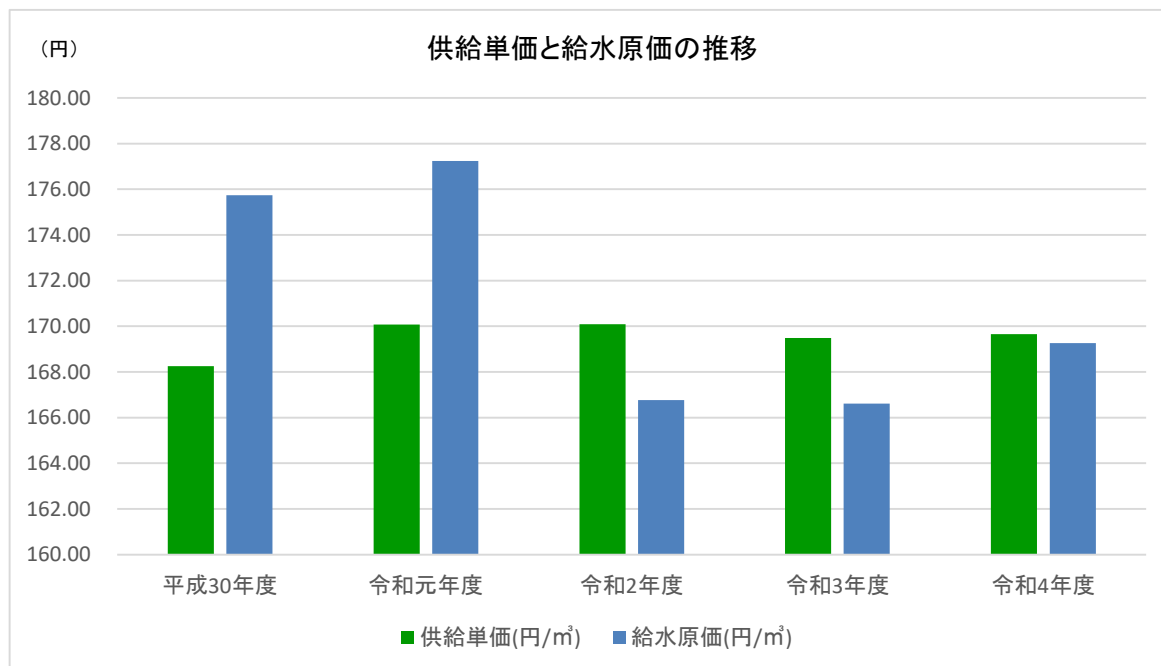
2 経営指標

水道事業は地方公営企業であるため、料金収入での独立採算を原則としています。

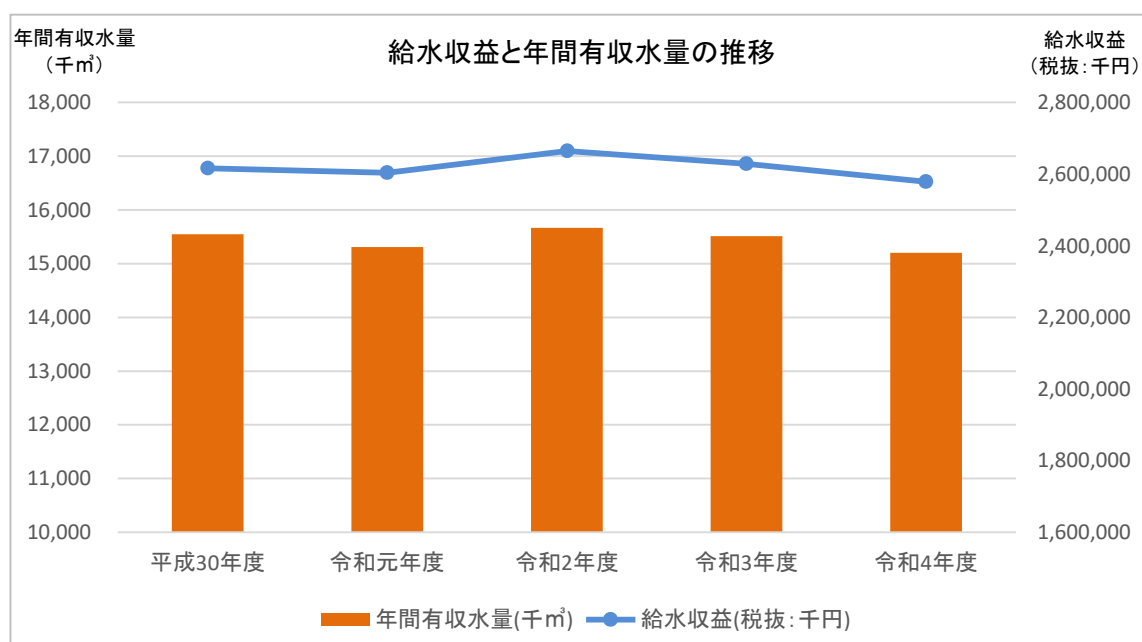
令和4年度の決算では、令和3年度に引き続き供給単価が給水原価を上回り、利益を確保できています。しかし、給水原価は、総費用の減少と有収水量の減少との関係性から増加しています。

収入の大部分を占める給水収益は、人口の減少、節水型給水機器の普及や節水意識の向上により、今後の増加は見込めない状況です。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
供給単価(円/㎥)	168.25	170.07	170.09	169.48	169.66
給水原価(円/㎥)	175.74	177.24	166.76	166.61	169.26



	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年間有収水量(千㎥)	15,551	15,311	15,667	15,511	15,201
給水収益(税抜:千円)	2,616,493	2,603,929	2,664,709	2,628,867	2,579,054



事業の経営状況を、貸借対照表、損益計算書等の財務諸表に基づき分析すると次のようになります。

項目	単位	算式	令和4年度	令和3年度
供給単価	円/m ³	$\frac{\text{年間給水収益}}{\text{年間有収水量}}$	$\frac{2,579,054 \text{ (千円)}}{15,201,424}$	169.66 / 169.48
給水原価	円/m ³	$\frac{\text{総費用} - (\text{受託工事費} + \text{材料売却原価} + \text{飲料水供給施設費用} + \text{協議会費用} + \text{不用品売却原価} + \text{特別損失} + \text{長期前受金戻入})}{\text{年間有収水量}}$	$\frac{2,572,994 \text{ (千円)}}{15,201,424}$	169.26 / 166.61
料金回収率	%	$\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}} \times 100$	$\frac{169.66 \text{ (円)}}{169.26 \text{ (円)}} \times 100$	100.2 / 101.7
総収支比率	%	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	$\frac{3,336,471 \text{ (千円)}}{2,945,863 \text{ (千円)}} \times 100$	113.3 / 114.9
経常収支比率	%	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$	$\frac{3,336,152 \text{ (千円)}}{2,942,481 \text{ (千円)}} \times 100$	113.4 / 115.1
流動比率	%	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	$\frac{4,008,248 \text{ (千円)}}{1,724,248 \text{ (千円)}} \times 100$	232.5 / 213.6
自己資本構成比率	%	$\frac{\text{自己資本}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	$\frac{21,514,181 \text{ (千円)}}{33,810,616 \text{ (千円)}} \times 100$	63.6 / 61.5

- ◆供給単価 … 有収水量1m³当たりの料金収入
- ◆有収水量 … 料金徴収の対象となった水量
- ◆給水原価 … 有収水量1m³当たりどれだけの費用がかかっているかを表す指標
- ◆料金回収率 … 給水に係る費用が、給水収益によってどの程度賄われているかを表し、料金水準等を評価する指標
- ◆総収支比率 … 総費用が、総収益によってどの程度賄われているかを示す指標
比率が高いほど収益性が良いとされる。
- ◆経常収支比率 … 経常費用が、経常収益によってどの程度賄われているかを示す指標
比率が高いほど収益性が良いとされる。
- ◆流動比率 … 短期債務に対応すべき現金預金等の流動資産が十分であることをみる指標
比率が大きいほど支払能力があることを示す。
- ◆自己資本構成比率… 負債・資本合計に対する自己資本(資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益)の割合を示すもので、事業の長期安定性をみる指標
比率が高いほど経営の安定性は大きい。

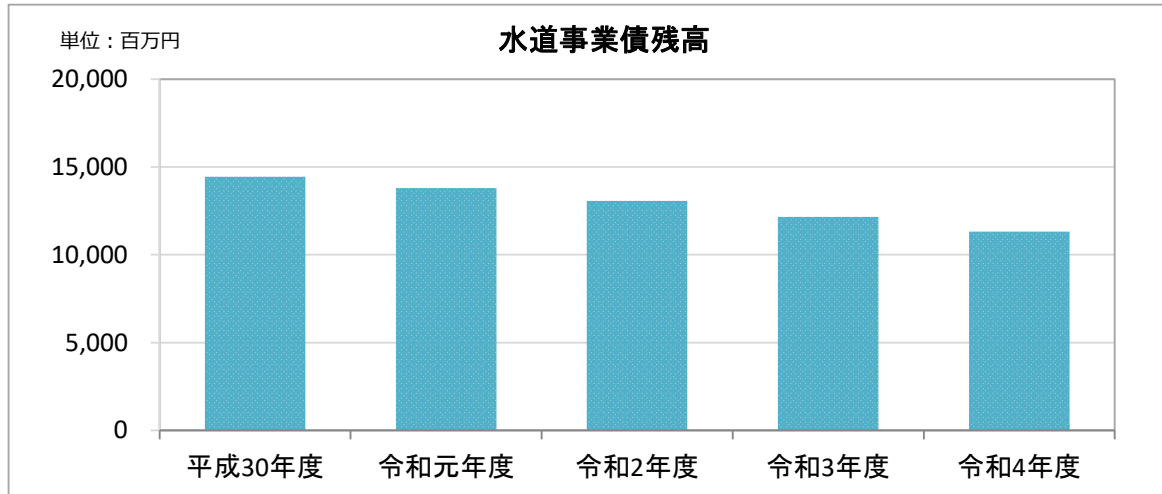
3 水道事業債の残高状況

水道施設の建設には、財源の多くに水道事業債が充てられています。これは、財源を確保するという意味だけでなく、その施設を利用するであろう将来の世代にも費用を負担してもらうという意味も含まれています。

令和4年度は、5億5千2百万円の水道事業債を借り入れており、年度末の残高は、113億1千8百万円となっています。

(単位:千円)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
企業債残高	14,446,498	13,799,048	13,071,838	12,152,193	11,317,922



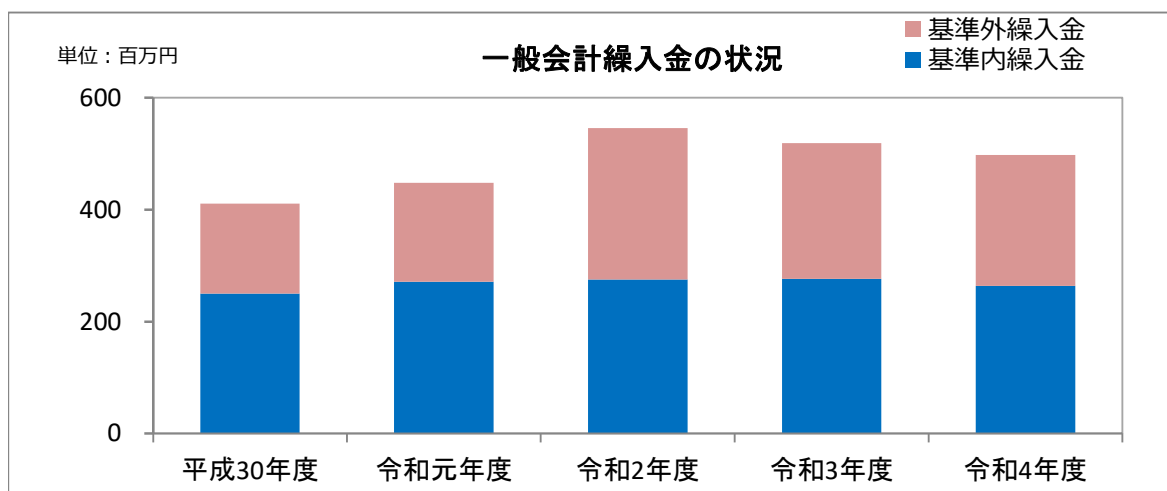
4 一般会計繰入金の状況

水道事業では、一般会計から負担金、補助金、出資金を繰り入れており、これを総称して「一般会計繰入金」といっています。

一般会計繰入金は、消火栓設置費など一般会計で負担すべきとされる「基準内繰入金」と、統合前簡易水道の運営費や水道事業債償還元金への出資の一部などの「基準外繰入金」に分けられます。

(単位:千円)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
基準内繰入金	250,430	271,511	275,316	276,721	263,899
基準外繰入金	160,472	176,720	270,391	242,474	233,751
合計	410,902	448,231	545,707	519,195	497,650



5 繰出基準について

水道事業は、地方公営企業法に基づき事業運営に必要な経費は、お客様からお支払いいただく水道料金で賄う「独立採算制」で経営されていますが、消火栓の設置に関する経費や統合前簡易水道の建設改良費について発行された水道事業債の元利償還金の一部などについては、一般会計からの繰入れが認められています。

本市での一般会計からの繰入れの主な項目は、次のとおりです。

項目	繰出基準	趣旨
1 消火栓に要する経費	消火栓の設置及び管理に要する経費、消火栓の設置に伴う水道管の増設、口径の増大等に要する経費等に相当する額	公共消防のための消火栓に要する経費その他水道を公共の消防の用に供するために要する経費について一般会計が負担するもの
2 統合水道に係る統合前の簡易水道の建設改良に要する経費	統合水道に係る統合前簡易水道の建設改良費について発行された企業債に係る元利償還金の100分の55	統合水道の経営基盤の強化及び資本費負担の軽減を図るため、統合前の簡易水道事業に係る建設改良のために発行された企業債の元利償還金の一部について繰出すもの
3 統合水道に係る事業統合後に実施する建設改良費に要する経費	統合水道に係る統合後簡易水道の建設改良費について発行された企業債に係る元利償還金の2分の1	経営基盤の強化及び資本費負担の軽減を図るため、事業統合後に実施する建設改良のために発行された企業債の元利償還金一部について繰り出すもの
4 地方公営企業職員に係る児童手当に要する経費	地方公営企業職員に係る児童手当の給付に要する経費全額等	地方公営企業職員に係る児童手当法に規定する児童手当の給付に要する経費の一部について繰出すもの
5 上水道の安全対策事業に係る事業費	浄水場、配水池等の基幹水道構造物の耐震化事業に係る事業費の4分の1	浄水場、配水池等の基幹水道構造物の耐震化事業に係る事業費の一部について繰出すもの

周南市水道事業の財政状況

〔2022年度(令和4年度)版〕

2023年(令和5年)11月 発行

編集・発行 周南市上下水道局

〒745-8655

周南市岐山通1丁目1番地 周南市役所本庁舎3階
周南市上下水道局 財政課(水道担当)

TEL(0834)22-8605 FAX(0834)22-8636

E-mail:suido-zai@city.shunan.lg.jp